

お客様各位

トレックス・セミコンダクター株式会社とフェニテックセミコンダクター株式会社の  
資本業務提携に関する契約締結のお知らせ！

拝啓 早春の候、貴社ますますご発展のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、フェニテックセミコンダクター株式会社（以下「フェニテック」）は、平成28年3月14日開催の取締役会において、トレックス・セミコンダクター株式会社（以下「トレックス」）がフェニテックの発行済株式総数の51%の取得を前提とする資本業務提携に関する契約の締結を決議したことをお知らせいたします。

トレックスは、ファブレスの会社として、民生から車載・産業機器向けの電源用アナログCMOS ICに特化した製品を世に出し、現在は超小型・低消費電力を特長として、スマートフォンやウェアラブル市場に積極的に参入する中、世界をリードする会社に成長しております。フェニテックはトレックス誕生以来、トレックスのウェーハの生産・供給に大きく寄与しております。

フェニテックは、ディスクリート半導体からBIPOLAR/CMOS ICに至るまで、シリコンファンドリーを事業の中心に据えて、長年に亘り国内外のお客様にご愛顧頂いております。昨年10月にはヤマハ株式会社よりヤマハ鹿児島セミコンダクタ株式会社（現フェニテックセミコンダクター鹿児島工場）を譲渡頂き、6インチウェーハの生産能力を倍増して、お客様より増産要請に対応すべく体制を整備いたしましたところであります。

今回の資本業務提携によりフェニテックは、トレックスとのシナジー効果の創出により将来を見据えたファンドリー生産体制の強化を図り、事業の安定性と顧客満足向上に努めます。そして今後もファンドリー事業の継承を基本として、既存事業の規模拡大及び新規事業の拡大のため経営資源を最大限に生かし、以って企業価値を最大化させてまいります。

併せて、現在お取引を賜っておりますお客様に対し、いささかのご迷惑ご心配をお掛けいたすものではなく、逆に生産能力、技術力の向上等により更なる利便性を向上させる所存であります。貴社に於かれましては、引き続きフェニテックにご愛顧を賜りますよう、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

敬具

平成28年3月14日

フェニテックセミコンダクター株式会社  
代表取締役社長 伊中正佳